

土壌を大切な資源に変える

セメント資源化システム

限りある資源から限りない再生へ
Selection of Rebirth



太平洋セメント株式会社

セメント資源化による 土壌リサイクル循環型社会の実現

太平洋セメントでは、廃棄物、副産物を受け入れ、
セメント原料としてリサイクルすることで
循環型社会の実現に貢献しております。

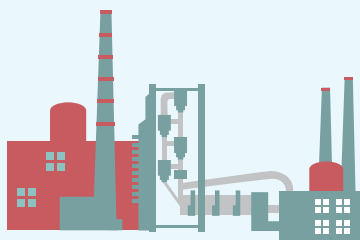


土壌を資源に変える セメント資源化システム



建設発生土

社会で発生した建設発生土は、
当社及び当社グループにて受け
入れます。



セメント工場

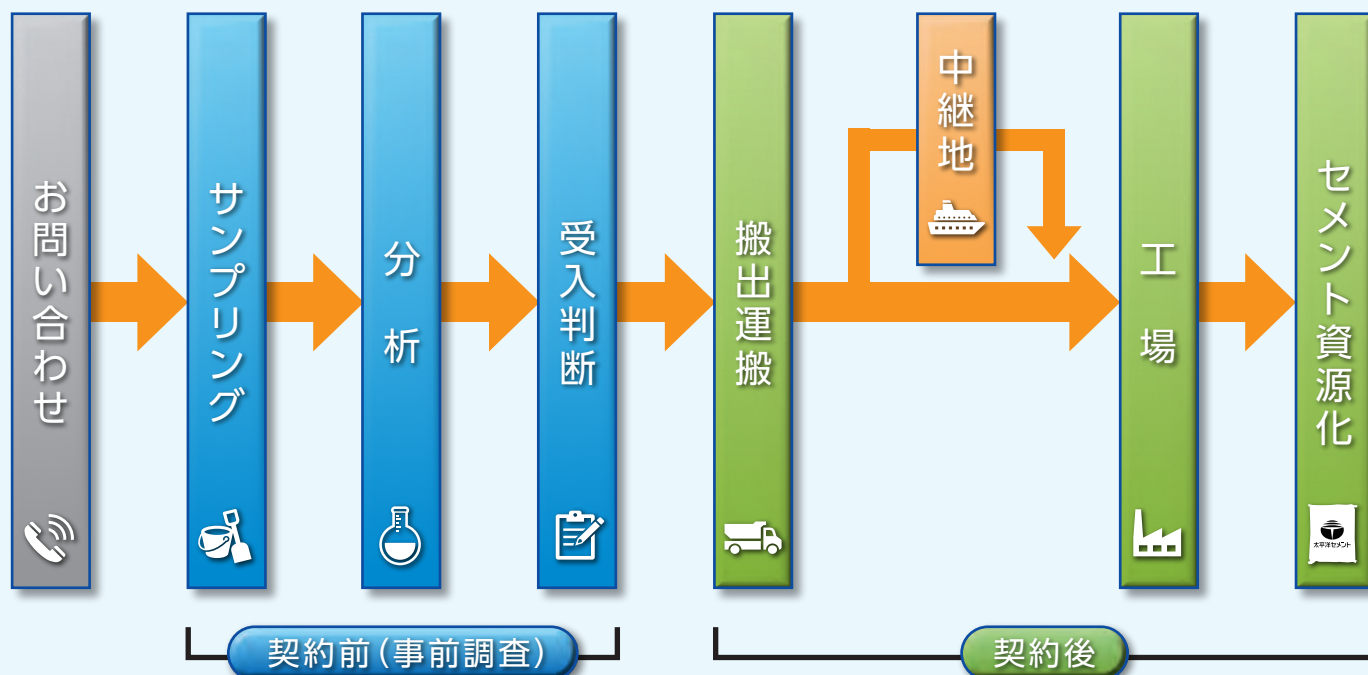
品質管理を行い建設発生土を受
け入れ、セメント原料として活用
します。



社会

リサイクル原料を使用したセメント
を全国各地で利用いただき、建設
発生土のリサイクルを実現します。

セメント資源化までの流れ



セメント製造工程

セメント1tあたりに必要な原料と主成分の例

石灰石
CaO
1,201kg

粘土
SiO₂、Al₂O₃
222kg

珪石
SiO₂
75kg

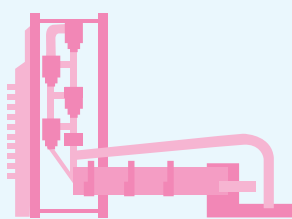
鉄原料
Fe₂O₃
27kg



原料調合・粉砕工程

石灰石・鉄原料等を調合・乾燥し、原料ミルで粉砕。

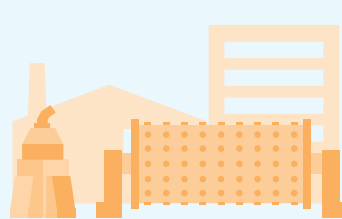
原料として**建設発生土**※や汚泥、スラッジ、石炭灰その他産業廃棄物を利用。



焼成工程

予熱した後、ロータリーキルン(焼成窯)で焼成。その後急冷し、クリンカという半製品ができる。

燃料として廃油や廃プラスチック、廃タイヤ、木くず等を利用。



仕上工程

クリンカに少量の石膏を添加し、仕上ミルで粉砕してセメントが完成。

セメント出荷

※セメント工場では第二種特定有害物質の汚染土壌(シアン・水銀汚染を除く)が受入可能です。

現場から搬出される土壌の区分について

	土壌に該当 コーン指数qc 200kN/m ² 以上	廃棄物に該当 コーン指数qc 200kN/m ² 未満
汚染なし	◆残 土 ◆建設発生土／非汚染 ＜根拠となる法令等＞ ・残土条例 ・建設リサイクル法 など	◆建 設 汚 泥 ◆泥 土 ＜根拠となる法令等＞ ・廃棄物の処理 及び清掃に関する法律 ・建設リサイクル法 など
汚染あり	◆汚染土壌 ◆建設発生土／汚染 ＜根拠となる法令等＞ ・土壌汚染対策法 など	

対象物／区分毎に
処理方法、適用法が異なる

- ・土は性状によって「土壌」と「廃棄物」に区分される
※「建設汚泥処理土利用技術基準」による
- ・さらに「土壌」は汚染の有無で2つに区分される

土壌汚染対策法の評価基準

(2021年4月改正)

分 類	特定有害物質の種類	指定基準		
		土壌溶出量基準 (mg/L)	土壌含有量基準 (mg/kg)	第2溶出量基準 (mg/L)
第一種 (揮発性有機化合物：VOC)	クロロエチレン	0.002以下	—	0.02以下
	四塩化炭素	0.002以下	—	0.02以下
	1,2-ジクロロエタン	0.004以下	—	0.04以下
	1,1-ジクロロエチレン	0.1以下	—	1以下
	1,2-ジクロロエチレン	0.04以下	—	0.4以下
	1,3-ジクロロプロペン	0.002以下	—	0.02以下
	ジクロロメタン	0.02以下	—	0.2以下
	テトラクロロエチレン	0.01以下	—	0.1以下
	1,1,1-トリクロロエタン	1以下	—	3以下
	1,1,2-トリクロロエタン	0.006以下	—	0.06以下
	トリクロロエチレン	0.01以下	—	0.1以下
	ベンゼン	0.01以下	—	0.1以下
第二種 (重金属等)	カドミウム及びその化合物	0.003以下	45以下	0.09以下
	六価クロム化合物	0.05以下	250以下	1.5以下
	シアン化合物	検出されないこと	50以下 (遊離シアンとして)	1以下
	水銀及びその化合物	水銀：0.0005以下 アルキル水銀：検出されないこと	15以下	水銀：0.005以下 アルキル水銀：検出されないこと
	セレン及びその化合物	0.01以下	150以下	0.3以下
	鉛及びその化合物	0.01以下	150以下	0.3以下
	砒素及びその化合物	0.01以下	150以下	0.3以下
	ふっ素及びその化合物	0.8以下	4,000以下	24以下
	ほう素及びその化合物	1以下	4,000以下	30以下
第三種 (農薬等)	シマジン	0.003以下	—	0.03以下
	チオベンカルブ	0.02以下	—	0.2以下
	チウラム	0.006以下	—	0.06以下
	ポリ塩化ビフェニル (PCB)	検出されないこと	—	0.003以下
	有機リン化合物	検出されないこと	—	1以下

受入判断基準

受入判断基準は含有成分の種類・含有量、土質、時期によって異なりますので、ご相談ください。コンクリートガラ等の異物混入または悪臭がする場合は受入が困難になります。現地確認、サンプリング・分析後に受入を判断します。

<受入判断に必要な情報>

土壌の
サンプル

土壌の
調査データ

現場の位置図

官庁への届出、
提出書類

土質柱状図

工事時期

太平洋グループ 工場、中継基地の位置

<受入工場>

- 上磯工場／北海道北斗市
- 大船渡工場／岩手県大船渡市
- 熊谷工場／埼玉県熊谷市
- 埼玉工場／埼玉県日高市
- 藤原工場／三重県いなべ市
- 大分工場／大分県津久見市
- 敦賀セメント(株)／福井県敦賀市
- 明星セメント(株)／新潟県糸魚川市
- (株)デイ・シイ／神奈川県川崎市

<中継基地>

- (株)デイ・シイ／神奈川県川崎市
- 三井埠頭(株)／神奈川県川崎市
- ・・・ほか全国に協力会社多数



全国に広がる太平洋グループの
ネットワークで土壌を受入、処理可能です。

太平洋セメント株式会社 お問い合わせ先一覧

本 社	[資源事業部 土壌ソリューショングループ] 〒112-8503 東京都文京区小石川1-1-1 文京ガーデン ゲートタワー20F TEL:03-5801-0354 FAX:03-5801-0362
北海道支店	[資源営業部] 〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル7F TEL:011-242-7181 FAX:011-242-7182
東北支店	[資源営業部] 〒980-0802 宮城県仙台市青葉区二日町1-23 アーバンネット勾当台ビル8F TEL:022-221-3251 FAX:022-225-7006
中部北陸支店	[資源営業部] 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-8-12 伏見KSビル7F TEL:052-218-3323 FAX:052-218-3326
関西四国支店	[資源営業部] 〒541-0051 大阪府大阪市中央区備後町4-1-3 御堂筋三井ビル11F TEL:06-6205-8615 FAX:06-6205-8618
	[四国資源営業部] 〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル8F TEL:087-863-6663 FAX:087-863-6664
中国支店	[資源営業部] 〒730-0811 広島県広島市中区中島町3-25 ニッセイ平和公園ビル10F TEL:082-504-8616 FAX:082-504-8624
九州支店	[資源営業部] 〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉1-2-25 キャナルシティ・ビジネスセンタービル6F TEL:092-263-8463 FAX:092-263-8461

太平洋セメントHP > 製品・サービス > 土壌のセメント資源化システム
https://www.taiheiyo-cement.co.jp/service_product/recycle_soil

